

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		全職員が利用者の状態の変化に素早く対応できる力を培う学習を重ね統一した適切な支援の提供ができるよう質の向上に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が統一したケアが実践できる。 ・利用者のADL、病状に合わせた介護方法の選択ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①介護技術の向上(各種研修会の実施) ②マニュアルを基に介護技術チェックの実施。 	12 か月
2		意思表示が困難な利用者にも、言葉表現が職員無くとも笑顔や穏やかな表情がひとつでも増えるような工夫を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・非言語的コミュニケーションの確立。 ・利用者の楽しみをみつけ、個別プランの充実を図る。 	①個別プランの見直し(5感に働きかける) 視覚、聴覚、触覚、味覚、感情	12 か月
3		消防署の立ち合いによる避難訓練の実施、職員の緊急連絡網の実践による確認、利用者の脱出訓練など具体的な避難訓練を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回避難訓練実施。 ・連絡網の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ①夜間想定火災訓練を3月・10月に実施。 ・消防署の立ち合いのもとで、利用者の屋外への脱出訓練。 ②災害時の連絡体制の確立。 ・連絡網の整備(関係各社・職員) 	12 か月
4					か月
5					か月

注1)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2)項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。